

こんな
お悩みや疑問
ありませんか？

自社に合う方が
なかなか見つからない

採用後の
定着が難しい…

今の職場は
合理的配慮が
できているか？

障害者雇用の取組に
課題や不安を感じている
企業担当者みなさま

自社に合う方と
出会うためには、
**職場環境の
見える化**が
必要です！

障害者雇用環境 アセスメントツールで 障害のある**求職者**と**企業**の よりよい**マッチング**を支援します！

チェック項目に回答していくことで職場環境を可視化、
自社の業務に合った求職者と出会うきっかけに！

障害のある方の就労・雇用について、法定雇用率の上昇などの社会的背景も
あって理解は進んでいるものの、実際の就労現場においては不安が生じる
ケースも少なくありません。この障害者雇用環境アセスメントツールは、
チェック項目に回答していくことで**現在の職場状況から対応可能な問題点を
見える化**し、より複合的に検討することが可能になるツールです。ぜひご利
用いただき、雇用促進にお役立てください。

詳しくは裏面をご覧ください

チェック項目					
騒音や一定の機械音がある職場である	○	○	○	○	●
光の刺激が多い職場である	○	●	○	○	○
館内に休憩できる場所がある	○	○	○	●	○

エクセル画面
上でチェック
を入れます

※イメージ

※障害者雇用環境アセスメントツールはあくまでも現状を把握するための
ものであり、職場環境の良し悪しや企業の障害者雇用の状況・
水準等を評価するものではありません。

ご興味をもたれたら
当該ページから
ご利用ください



<https://www.pref.kyoto.jp/jobpark/sksc/kasika.html>

お問い合わせ

京都障害者雇用企業サポートセンター

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70(新町通九条下ル) 京都テルサ内

Tel:075-682-8928 Fax:075-682-8944

mail: support@kyoto-jobpark.jp

障害者雇用環境アセスメントツールの活用方法

対 象 障害のある方の雇用や実習を検討されている企業が対象です。

活用のメリット

1 | 自社の業務に合った求職者との出会いのきっかけになる

回答結果を求人票や職場実習の募集シートに添付して公開することで、自社の業務に合った求職者との出会いのきっかけになります。

2 | 自社の働きやすい環境づくりのロードマップになる

アセスメントツールになっているので、回答することで、自社の働く環境の客観的な評価が得られます。

3 | 障害特性や合理的配慮を知るきっかけになる

質問や当事者への配慮例は、精神障害・発達障害・知的障害の特性に基づき設定しているので、障害特性や合理的配慮を知るきっかけになります。

特徴

1 | 気軽に進められる！

- ・Excel形式で操作しやすい回答フォームになっています。
- ・回答にかかる時間は20～30分程度で気軽に進められます。
- ・チェックシート式で簡単に回答できます。



2 | 分かりやすい質問

チェック項目はシンプルで分かりやすい表現になっています。

3 | 自社または部署にあった職種のシートで回答できる

シートは①事務 ②作業 ③販売・サービスの3職種に分かれています。

監修



村田 淳 京都大学 学生総合支援機構・准教授

同大学DRC(障害学生支援部門)のチーフコーディネーター、及び障害学生支援分野の全国的なプラットフォーム事業であるHEAP(高等教育アクセシビリティプラットフォーム)のディレクター。障害のある人の学びや就労、地域生活を専門とする実践家。

障害のある人が働くことを考える際、社会や組織のなかにどのような障壁(バリア)があり、それらをどのように解消・軽減できるのかを考えることがとても重要です。本ツールは、企業のこと、職場のことを客観的に把握するためのツールであり、職場(雇用環境)の改善に役立つものであると同時に、より良いマッチングを創出するためのツールとして役立ててください。



ご興味をもたれたら当該ページから
ご利用ください

<https://www.pref.kyoto.jp/jobpark/sksc/kasika.html>



お問い合わせ

京都障害者雇用企業サポートセンター

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70(新町通九条下ル)京都テルサ内

Tel:075-682-8928 Fax:075-682-8944

mail: support@kyoto-jobpark.jp